

とうきょうすくわくプログラム2024

《目的》すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探求心（わくわく）」を応援する東京都のプログラムです。

各園の環境や強みを活かしながら「光」「音」「植物」など各園が設定するテーマに沿って、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実践し、非認知能力の向上など幼児教育・保育の充実を図る支援事業になります。

はなこがねい保育園では、昨年度「自然・園庭あそび・光」をテーマに取り組みましたので、お知らせいたします。

テーマ1 園庭遊び

開園したばかりの園庭に築山を造り、1，2歳児の子どもたちが登ったり滑り下りたりして遊びました。丸太を転がしながら運んだり、フープを転がして走って追いかけたり、日々繰り返し遊ぶことで自ら遊びを工夫する姿がありました。始めは手をついて登っていましたが、しばらくすると立って登るようになりました。体のバランスを取って足先に力を込める姿に「かんばって」と声をかけたくくなります。12月にはお父様方にお手伝い頂いてタイヤを築山に埋めて階段を造りました。乳児園庭の砂場でも年度の終わりのころには友だちと一緒に遊ぶ姿が見られ、友だちと過ごすことが楽しいと感じ始めています。



テーマ2 光

部屋に差し込む光や自分についてくる影に興味をもったすみれ組の子どもたち。担任がドレッサーや手鏡を用意すると、反射する光に気づき天井や壁に映して遊んでいました。「何だろう」「面白いね」と友だちとわいわいがやがやと見つめていました。散歩先では自分の指の影をベンチに映して一本一本確かめているようでした。子どもたちは、ふとした瞬間に何かを見つけ注目します。それが学びの一步になります。そして、そこにはその発見に気づいて一緒にすごいね、面白いねと感じる大人が必要です。子どもたちの遊びは発見の連続です。



テーマ3 自然

保育園では散歩に出かけます。子どもたちは虫や木の実、葉っぱなどを探することが大好きです。花や葉っぱの色で季節を感じたり、ときには大きな木がおばけになったり、それだけで遊びになります。自分の虫かごを持って好きなものを集めました。ドングリや葉っぱ、木の枝、石などを大切に持ち帰ります。秋にはたくさんの落ち葉をたんぽぽ組の子どもたちが集めてきて、園庭で落ち葉を降らせて遊びました。花壇の隅に寄せて置いたら春には腐葉土になっていました。身近な自然は子どもたちの大切な友だちです。関わり合って触れ合っていていきたいと思います。

